

平成18年度半田市政に関する要望

1. 観光振興の促進

観光拠点（蔵のまち）の整備

半田市観光協会が国の登録有形文化財を活用して事務所を開設した下町通りを半田市の代表的観光拠点として、例えば「蔵のまち通り」と位置づけ、電線の地中化や路面の改良など早急にインフラ整備をしていただきたい。

山車会館の建設

亀崎潮干祭が国の重要無形民族文化財に指定されたが、山車の街にもかかわらず「山車会館」がない。観光振興のためにも、是非会館建設協議会を立ち上げるなどの対策を講じていただきたい。

2. インフラの整備促進

(1) 道路について

国道247号線出口町交差点の改良

セントレア空港へのアクセスでもある国道247号線の出口町交差点は、地形的に名鉄線の踏み切りに近いこともあり、東西ラインは常時混雑している。東からの右折ラインの延長等と交差点の時間調整を関係機関とともに検討していただきたい。

衣浦大橋の渋滞緩和

トヨタ系企業の進出により、衣浦大橋の朝夕はますます渋滞を来たしている。早急に緩和策を講じるよう、国、県への働きかけをするとともに、併せて緩和策として、衣浦海底トンネルの通行料の無料化または減額化の働きかけをしていただきたい。

(2) 鉄道について

名鉄、JRの踏み切り遮断機の時間調整

東西のアクセスで障害になっているJRおよび名鉄の踏み切りについて、遮断時間が長く、渋滞を増加させている。短時間化を関係機関へ働きかけをしていただきたい。

鉄道高架化の推進

JRおよび名鉄の高架化については、「半田連続立体交差事業促進期成同盟会」が設立されて推進を図っていただいているが、出来るだけ早く高架化が実現するよう一層の運動展開を図っていただきたい。

(3) 緑化整備について

会議所植樹事業への全面支援

会議所では民間活力によるインフラ整備として、委員会や部会で緑の豊かな街づくりを目指し神戸川沿いの桜並木、平和通りのケヤキ並木事業を展開している。地域の区民も巻き込んだ事業にて、市も全面的な支援をしていただきたい。

3. 文化事業の推進

文化水準の高い都市づくり

半田市は歴史的、文化的にも他の市町に比して高い水準にあるが、より一層文化水準を高めることはレベルの高い住民を増やし、町のイメージアップの相乗効果を生む。民間任せではなく、行政も積極的に文化向上のための事業を展開していただきたい。

文化財建築物の保存

市内には国、県、市指定の文化財、及び古民家がある。歴史ある半田の遺産を観光施設として活用すべきであり、保存するための施策を検討していただきたい。

C 1 1 機関車と鉄道資料館の移転

市民ホール取り壊しに伴い行き先が問題となっているC 1 1 機関車と鉄道資料館を産業遺産として赤レンガ広場に移転させ、資料館は暫定的に赤レンガ建物の一室を活用し、将来的には赤レンガ建物を中心に周辺を産業歴史資料館的な施設となるよう考えていただきたい。

4 . 中小企業対策の充実

地元企業への優先発注

市の入札制度は地元企業の育成とひいては市財政への還元というチャンスである。案件によっては、市外企業への発注を余儀なくされる場合も生じうるが、地元企業育成のためにも優先発注をしていただきたい。

知多半田駅前商店街の活性化

半田市の顔である知多半田駅前の商店街はクラシティ半田との相乗効果を生むためにも、早急にインフラ整備をして、駅前に商店が集まってくるよう商店街への支援策を講じていただきたい。

5 . 教育問題の改善

教育に関わる懇談会の開催

最近の企業に就職する若者は、年々その能力や気力、社会への順応性等の低下傾向が見られることは歪めない。人材育成は学校教育から。教育に携わる方々がもっと広く地域や企業と関わりを持ち、問題意識を共有し、皆で優秀な人材を育てる土壌作りが必要であり、半田の将来を担う人材を育てることが重要であると考え。そのためには行政、企業、学校が垣根を取り払って話し合う場づくりが必要と考える。定期的な懇談の場づくりに協力をお願いしたい。

半田市の特徴ある教育指針

半田市の学校教育の特徴は？と問われて誰もが答えられる指針を示していただきたい。崇高な指針でなく、例えば「半田の子は挨拶ができ、公衆道徳を守る」といった倫理道徳の徹底した教育も指針の一つ。教育関係者だけがわかる教育指針だけでなく市民全体が共有し、家庭教育・地域教育に生かすことの出来るわかりやすい教育指針を示すことにより、地域全体で半田の子を育てる風潮を育てていただきたい

い。

6. 大手企業進出に伴う地域との融合促進

進出企業の地域団体との融合促進

市外に本社があり、市内に進出する大小の企業は地域との係わりを敬遠する傾向がある。半田市内中心に商売をやって利益を生むと、その税はほとんどが市外に流れ地元への貢献は乏しいものがある。また、当所や商店街との係わりも拒否している状況では、災害や事故があった場合の係わりはどのようにするのか懸念される。地域貢献条例制定等、企業進出に際し地域との関わりを必ずご指導いただきたい。

社員住宅等地元整備についての指導

進出企業があることは半田市にとって良いことだが、規模が大きければ大きいほど従業員の市外からの流入で市内の交通事情は悪化する。については、進出企業に対し出来るだけ、社員住宅の市内への整備などの配慮を指導いただきたい。

提出年月日 平成18年10月26日

提出先 半田市長 榊原伊三